

みんなで子育て No.12

第2回岐阜地区家庭教育担当者会

令和3年12月9日(木)：羽島市立図書館(各市町はオンライン)

目的：岐阜地区の各市町の子どもの健やかな成長のために、各市町担当者が情報を交換し合い、研修を重ねることを通して、家庭教育の充実及び地域での子育て支援に役立てられるようにすること

各市町には家庭教育の担当者がいます。交流や研修を行いながら質の向上に努めています。その様子を紹介します。

○ 講話 「図書館の子どもへの諸活動」

講師 羽島市立図書館 主幹 田中 美穂 氏

★施設紹介

1階の児童開架の奥には、子ども向けスペースとして「おはなしコーナー」があります。カーペット敷きの部屋で靴を脱いで上られる、くつろげるコーナーです。



羽島市立図書館



羽島市の読書通帳

★読書通帳

イタセンハライラストや説明も載っている読書通帳は羽島市のオリジナルですね。子どもも興味を持てます。

★図書館以外への貸し出し

図書館に隣接する文化センターにあるカフェにはキッズスペースがあります。このカフェは、市内の子育てサークルを統括する「羽島母親クラブ連絡協議会ママママ」が運営しており、そちらの本のコーナーに貸し出しをしています。連携して本に触れる機会を作っています。



会場の様子

★「赤ちゃんタイム」(現在休止中)のアナウンス

『「赤ちゃんタイム」は、小さなお子様連れの方にも、気兼ねなく来館していただくための時間です。一般利用者の方々も、赤ちゃんの泣き声や話し声などについて、あたたかいご理解とご協力をお願いいたします。』といったアナウンスや、掲示をして理解を求めています。利用者から苦情は届いておらず、みなさんあたたかく見守っていただいているようです。』
こういった内容を聞くと安心して図書館に行こうという気になりますね。

○市町交流

「家庭教育支援チームの登録に向けての状況」や家庭教育の関係部署について、事前に調査した内容などを基に確認を行いました。山県市の家庭教育支援チームの登録に向けてのお話がありました。チームに所属する人や活動内容から似たような団体がいるのではないかと市町での情報を再度得る必要があるといった方向性が見えてきたようです。

次年度の家庭教育学級リーダー研修会を今年度のようにオンライン開催で行うこと、わが家の約束運動を100%実施の目標に進める等、「令和4年度岐阜地区家庭教育推進の方針と重点」について確認ができました。



市町交流の様子

山県市は、PTA 連合会で平成 26 年に夜 9 時以降はケイタイを使わないというルールを決めるという活動をされています。県内では早い時期の対応でした。そのため毎年情報モラルの講演会をどの学校も計画されています。しかし、講師を呼ぶための講演会を計画することが難しいことや、オンラインという事もネット環境についての懸念から開催を断念しました。そこで高富小学校の PTA の役員さんが在宅でできる資料はないかとネットで検索し、岐阜県教育委員会のリーフレットを利用しようと考えられました。その後、県より送られたパンフレットを実践カードとして利用して家での取り組みを話し合う活動をされました。

① 情報の講演会が中止のため県のリーフレットを使ってルール・約束を決める活動を実施(記入例です) 岐阜県教育委員会・情報モラル関係資料・啓発用リーフレット・R3リーフレット

高富小学校 保護者様

令和 3 年 10 月吉日

山県市立高富小学校
PTA 会長
校長
保護者代表
担当 村

案内

第 3 回家庭教育学級『情報モラルの講演会』のご案内

秋晴れの候、保護者の皆様には、新型コロナウイルスとの共存の不由にあって、毎日の生活が難しく感じられる方もいらっしゃるかと存じます。そして、日頃より PTA 活動にご理解ご協力ありがとうございます。

さて、第 3 回家庭教育学級「情報モラル」についての講演会を 11 月 6 日に開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止、また皆様の健康を考慮し、「中止」と決定致しました。しかし、学校から児童一人ひとりにタブレット端末の貸出しをされたことで、各家庭でインターネットに接続し、気軽に情報を得たり、交流しだりできる環境になりました。

そこで、今回「情報モラル」についてのプリントを配布させて頂きます。お子様と一緒にご確認して頂き、トラブルに巻き込まれないよう、ルール、約束を決めて頂けると幸いです。また、お互いの友達の家での遊びのマナーについてもご家族で話していただく機会としたいと思います。

お忙しいところ恐縮ですが、何卒ご確認のほどよろしくお願い申し上げます。なお、プリントの提出は必要ありません。

携帯・スマホの被害からお子さんを守ろう!!

ルールを決めて守ろう!

※お子さんに携帯電話、スマートフォンを持たせることは保護者様としての責任を負うことになります。お子さんがトラブルに巻き込まれないよう、ルール、約束を決めて頂けると幸いです。

安心安全な利用のための取り組み

1. 必要のない携帯電話やスマートフォン等を持たせない。
2. 携帯電話やスマートフォン等を契約する際は、安心・安全に使用するための「フィルタリング機能」を利用する。
3. 夜 9 時以降は、お子さんから携帯電話やスマートフォン等を預かる。

山県市 PTA 連合会・山県市青少年育成市民会議

ちょっと待って! あなたとネット・ゲームのつきあい方

つぎのマンガを読んで、考えてみましょう。

1 スマホやゲームがやめられない

「Aさんは最近ゲームに集中しています。このアイテム絶対ほしい!」

「あと少してクリア!」

2 家ではいつも言いあそい

「家の人が、Aさんにゲームのやり方を注進します。すると、いつも言いあそいになってしまいます。」

「いままでも!」

「やめたいのにやめられない」

「やめたいのにやめられない」

3 ゲームをやめたいのに、やめられない

「注意された後は反省するのですが、どうしてもまたゲームを始めます。」

「もうやる時間!」

「宿題まだしていないんだ!」

「あ、次の朝起きられるかな」

Q1 3 のふきだしにはいる、Aさんの気持ちをいくつか考えて記入してみましょう。

Q2 このような毎日が続くAさんに、良いアドバイスをあげてください。

◎ゲームの時間を決める。
◎ゲームをする日を決める。
◎勉強が終わってからゲームをする。

ネット依存・ゲーム依存度チェック、自己診断してみましょう。

ネット依存度チェック

1. ネットに夢中になってしまっている。	はい	いいえ
2. ネットを利用する時間や回数について注意されたことがありますか。	はい	いいえ
3. ネットを利用する時間や回数が増えたり減ったり、できないことがありますか。	はい	いいえ
4. ネットを利用しているときに、いらいらや怒り、イライラなど、おこっていることがありますか。	はい	いいえ
5. 気分よく、思い通りに、インターネットを利用していることがありますか。	はい	いいえ
6. 家族や友達と遊ぶことが、ネットを利用しているときと比べて減りましたか。	はい	いいえ
7. ネットを利用している間は、勉強や宿題がはかばかしく進まないことがありますか。	はい	いいえ
8. いやいやと覚めたときに、ネットを利用することがありますか。	はい	いいえ

ネット依存度チェック、自己診断してみましょう。

ネット依存度チェック

ネット依存度チェック

自分と他人の人格を尊重しよう!

インターネットは、いつでもどこでも、簡単に情報発信できる便利な道具です。一方で、匿名で情報発信できるため、ホームページや電子掲示板、他人を誹謗中傷する書き込みや書き込みが横行しています。インターネット上で、他人の人格を尊重する責任は許されるものではありません。情報の発信には責任が伴うことを覚えておきましょう。

SNS・ネットゲームを利用する際の注意点

個人情報は公開しないようにしましょう!

自分や他人の容姿、個人情報を安易に投稿すると、知らぬ間に拡散され悪用される可能性があります。

発信された情報は簡単に消せない!

一度インターネット上に書き込んだ情報は、簡単に消すことができません。また、匿名で書き込んだとしても、特定することが可能です。

情報を発信した後のことを考えよう!

ほんの軽い気持ちで書き込んだ情報が、深刻な人権問題などに発展し、被害者にも加害者にもなる可能性があります。発信する前によく考えておきましょう。

ネットゲーム「ボイスチャット」の使い方に注意!

ネットゲームの「ボイスチャット」機能を使って、及らの悪口を言ったりするのは、及らのことを大切にしながらお過ごしください。

お互いに気持ちの良いSNSの使い方を考えよう!

お互いの顔は見なくても、インターネットでつながっているのは、心もつながる人間であることを忘れずSNSを利用しましょう。

保護者の皆さんへ

子どもをトラブルから守るためにできること

家庭内ルールを決めよう(12月用)

使用時間・場所・その他

利用するアプリは、60分まで

利用する場所は、お風呂

一人の時はやらない。勝手に課金しない。

人の悪口を書き込まない。写真を送らない。

月曜に家族みんなで話し合い、家庭内ルールを考えよう。

コメント

講演会が出来なくても、県のリーフレットを探し出して、各家庭で情報モラルについて考えられる環境を作りました。まずこのアイデアがいいですね。

次にちょうどそのころ県から全学年へ配付のパンフレットが届いたことを利用されたというナイスな動きです。アンテナを貼って利用できるものはないかといった意識がこの活動を生んだようですね。

②の約束を家庭で実施するために県の「話そう!語ろう!わが家の約束」運動のパンフレットをそのまま活用して実施(記入例です)

岐阜県家庭教育支援条例を知っていますか?

平成26年12月、子どもたちの健やかな成長に喜びを感ぜられる岐阜県の実現をめざして施行されました。次のようなことが定められています。

●行政、祖父母、地域住民、学校等、事業者など、みんなで家庭教育を支えていきましょう。

●家庭教育についての関心と理解を深め、実践に向けた意欲を高めるため、毎月第3日曜日と「8」のつく日を「家庭教育を実践する日」とします。

詳しくは岐阜県のホームページをご覧ください

岐阜県 家庭教育 検索

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カードや「家庭教育プログラム」などの関係資料を掲載しています。

岐阜県環境生活環境課生活政策課
〒500-8570 岐阜市辰田南2-1-1
TEL 058-272-8752

「話そう!語ろう!わが家の約束」実践カード

このカードを使って実践してみましょう!

名前 _____ 年 組 _____

家庭教育を実践する日は、毎月第3日曜日と「8」のつく日です。

わが家の約束を決めよう。

わが家の約束宣言

ゲーム、スマホ、タブレット等は21時までには終わる。

月日	11/15	11/16	11/17	11/18	11/19	11/20	11/21
曜日	月	火	水	木	金	土	日
約束を守りましたか	<input type="checkbox"/>						

子どもから家族へのメッセージ ○取り組んだ感想や家族への思いを書きましょう。

お父さんも一緒にやってくれたので守れたよ。ありがとう。

家族から子どもへのメッセージ ○子どもへの励ましや言葉等をおきましょう。

自分からやると言い出したことが守れるのはいいことだね。

岐阜県は、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

☆学校で楽しかったことやがんばったことを家族に話しましょう。

清流の国ぎふ

子どもたちの健やかな成長のために

岐阜県は、「話そう!語ろう!わが家の約束」運動を推進しています。

岐阜県

基本的な生活習慣

自立心

自制心

善悪の判断

挨拶及び礼儀

思いやり

命の大切さ

家族の大切さ

社会のルール

家庭の大切さ

岐阜県家庭教育支援条例第2条より

家庭教育で育む力

本巣市教育委員会の在宅取組その1 親子DEクッキング 在宅取組型

本巣市教育委員会では、家庭教育への働きかけをいくつか実施されています。今回はその1つを紹介します。
 ・幼児後期・学童期・思春期の子どもを保護者を対象に「食」と「親子調理」をテーマにした家庭教育学級を実施しています。
 ・「親子DEクッキング」は、市内幼児園生・小中学生を対象に、給食センターの指導を受けて、イラストを入れたり、給食のメニューの動画(QRコード付き)をレンピに起こして見やすくされたという工夫があります。

★募集案内
 目的が明確・イラスト入りで楽しくしていますね。

本巣市家庭教育応援通信

令和3年 vol1

一緒に食べる・一緒に作る・お家ご飯 親子DEクッキング「家族の思い出募集！」

ばしゅう
募集期間 7月21日(水)～8月31日(火)

★小中学生のみなさん★
 できることを増やして
 お家時間を楽しみましょう
 ★ようじえんのみなさん★
 こんなおにいさん・おねえんもどうぞ



★家族のみなさん★
 家族ができることを増やして
 お家の仕事ちゃんマスター
 気持ちや時間に余裕があるとき
 から始めてみてください。



★工夫されたカード(記入例)

親子DEクッキング「家族の思い出」応募方法

- ★応募対象 本巣市内幼児園生・小中学生
- ★応募条件 幼児園生・小中学生本人と家族が一緒に調理に関わること
- ★応募方法 裏面の用紙に必要事項を記入し、写真を貼って、園・学校の先生へ提出してください。
- ★書き方

親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	親子DEクッキング	感想	合計	思い出のこころ・うれしかったこと	
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	あり	点数		
子ども	①	③	2	④	5	⑤	4	⑥	8	19	おばあちゃんが育ててトマトを使って、サラダを作りました。お母さんに、美味しさを伝えているので、人の気持ちがよく分かるようになります。子どもと一緒に食事にすることで、共通の話題が生まれ、家族のコミュニケーションが増えます。
日	7/30	8/3	一緒にできた工程に○をつけ、日にちを書こう。一日だけでもいい。	8/3	/	8/3	/	8/3	/	合計点を書こう。	上の段は自分で書こう。下の段は家族に書いてもらおう。
家族	①	①	1	①	1	①	1	②	8	12	なかなか一緒に作る事がないので、心配でしたが、上手に盛り付けしてもらいました。
料理名	夏野菜ぎゅうどんとサラダ								合計点からランクアップ	子ども	家族
写真	写真(料理や調理風景)を貼ってください。☆がんばって作った料理 ☆おいしそうな料理 ☆一生けん命取り組んでいる調理風景 ☆楽しく食べている食事風景 など お気に入りの一枚をお願いします。								合計点から、自分のランクを確認しよう。	16～30点 一人前 期待賞	8～15点 パートナー 賞状カード
氏名	ふりがな	もとす	たろう	本巣 太郎							
保護者氏名	本巣 花子										
園・学校・学年・学級	△△ 幼児園・①・中学校 4年 5組										

親子DEクッキングで 楽しく食べる子どもを育てる家庭づくり

食事のリズムがもてる子
 食事のとき、お腹は空いていますが、幼い頃から、ぐっすり眠り、たっぶり遊び、空腹を感じられるようになると、次第に食欲や生活のリズムが整います。1日3回の「いただきます・ごちそうさま・ありがとう」でメリハリのある生活を。

食事を味わって食べる子
 おいしさを見つければいいですが、食事の楽しさは、おいしさを知ることから始まります。幼い頃から、様々な味を経験し、いろいろな食品を見て、知ることで「食べたい」という意欲が育ちます。おいしさの発見を繰り返すうちに、おいしさは、味だけでなく、匂いや音、歯ごたえと一緒に食事をする人や環境も大切であることが分かるようになります。

一緒に食べたい人がいる子
 食事の時間は楽しいですが、幼い頃から、みんな食べる楽しさを体験している、人の気持ちがよく分かるようになります。子どもと一緒に食事にすることで、共通の話題が生まれ、家族のコミュニケーションが増えます。

食生活や健康に主体的に関わる子
 よく食べ物の話していますが「食べたいもの」を話し合ったり、本や遊びを通して食べ物や身体の話題に親しんだりしていると、食べ物に興味と関心を持つ子どもに育ちます。

準備にかかわる子
 一緒に食事づくりをしています。子どもが食事づくりに関わることは、マナーや習慣を覚え、家族のコミュニケーションを図る良いチャンスです。幼い頃から、料理や買い物など食事の準備や野菜の栽培体験をさせながら、子どもができることを増やしていきましょう。

親子DEクッキング レシピ

楽しく
 乳児
 安心
 優しい声かけ
 もりを通して
 と安らぎの
 食べる意欲

ガバオライス (本巣市学校給食メニュー)
 ～お家でタイ料理バジルの香る炒めご飯～

主食・1人分 578 kcal



材料 (4人分)

ごはん	茶わん 4 杯分
卵	4 個
豚ひき肉	300g
なす	1本
パプリカ	1/2 個
★砂糖	大さじ2
★みそ	大さじ2
★酒	大さじ2
★みりん	大さじ2
レタス	4 枚

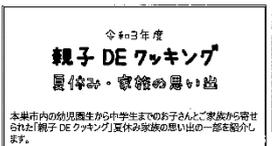
バジル※あれば、ホーリーバジル 5枚
 ※乾燥バジルの場合は、小さじ1

★クッキングレンピ(QRコード付き)

作り方

- なすはイチレタスは食生のバジル
- 卵を目玉焼きにします。レンジで目玉焼きを作る場合は、耐熱皿に卵を割り入れ、竹串などで卵黄を差します。500wの電子レンジで30秒位加熱します。※爆発しないように、様子を見ながら、加熱時間を調整してください。
- ★の調味料を混ぜ合わせます。
- フライパンを熱し、油を入れ、豚ひき肉を炒めます。
- 豚肉の色が変わってきたら、なすとパプリカを入れ、炒めます。
- (5)のフライパンに蓋をして加熱し、野菜に火を通します。
- 野菜に火が通ったら、★の調味料を加え、混ぜ合わせます。
- 最後にバジルを加え、軽く混ぜ合わせます。
- 大きめの茶碗などにごはんをよそい、レタスと(8)のをせ、盛り付けます。

★実施後のおたより
 カードを集めた後のまとめ方の視点が色々あって読んでみたくになります



親子DEクッキング 人気料理

パン

こねる・形を作った後の仕上げや焼き上がりのパンの仕上げが楽しかったです。小さなお子さんの挑戦しやすいうれしです。

卵料理

卵料理からオムレツ・オムレツ料理に挑戦しました。お料理の準備は楽しかったです。

カレーライス

お子さんや家族が育てた野菜を使って調理しました。野菜料理も美味しく食べることができました。

いため

ちゃんパンや野菜を切って、いためたりする楽しさを体験しました。



心と身体を学ぶバツン！ 親子DEクッキング体験レポート

発見

切るのが楽しい。難しく感じる音が面白い。(幼児園年長)

好奇心

好きな形のパンを作って焼けたところを見るのが楽しかったです。(幼児園年長)

達成感

自分でせんざりが上手に切れてうれしかったです。(小学4年)

モロヘイヤはめぐるして切りにくかった。(小学4年)

ずっとしてみたかった。片付けもできてうれしかったです。(小学2年)

皮が上手に包めてうれしかったです。にんにくたっぷりぶりょうざが大好きになりました。(小学4年)



nico nico ビタミン講座

12月17日(金) 10:30~11:30

場所：岐阜市 カワボウビル4F 地域コミュニティセンターnico nico

《テーマ》：「健やかな体と心の発達に大切なこと」～お子様への接し方・スキンシップあそび～

講師：岐阜県環境生活政策課 家庭教育推進専門職 河野 和彦

対象：0歳～未就園児のお子さんとその保護者、昨年も実施しました。

コロナ感染防止対策：消毒・マスク着用、参加者を5組にしぼり、距離を取り、その場での活動が中心です。

◆活動内容

1 親子遊び わらべ歌・音楽に合わせて

2 お話

○スキンシップの効果、母、父のスキンシップ
・年齢に応じたスキンシップ

○心の発達、褒めること

○スマホについて (お話)

3 交流 (忙しい時に子どもに「だっこ」とせがまれた時の対応)

(家庭教育プログラムⅡスキンシップより)



<感想等> ○手遊びの様子から保護者の皆さんはお子さんと日頃からよく遊ばれているのが分かりました。

- ・手遊びも新聞遊びも楽しかったです。子どもとの関わりで何が大切かももう一度振り返ることができました。
- ・スキンシップを大切にしていたつもりだったけれど、スマホに集中してしまっていたことがあったなーと子どもと向き合う時間をもっと作れると気が付かされました。子どもの関わり方を見つめ直すきっかけになります。

わかくさビタミン講座

12月3日(金) 10:30~11:30

場所：関市わかくさ・プラザ総合福祉会館1F わかくさ児童センター



★niconico ビタミン講座と同じ内容で実施しました。参加者は10組です。

<感想等> ○ゲームや交流での参加が主体的で、お母さん方の表情が良かったですね。

- ・初めてこのような講座に出ました。いろいろなお母さん方の話や、先生の話聞いてよかったです。
- ・すぐためになる話を聞かせてもらって楽しかったです。スキンシップはストレスをためない子になる。初めて知って大事なことなんだなーと思いました。
- ・あっという間でした。楽しかったです。紹介していただいた本、心に響きました。図書館にあれば今度借りてゆっくり読みたいです。

NPO 法人グッドライフ・サポートセンター



地域コミュニティセンターnico nicoは、マーサ21と協働で事業を実施。わかくさ児童センターは、2021年4月より指定管理業務として実施。昨年実施のみなたん・鷺山子ども館も委託事業として運営管理している団体です。

この法人は、子育て支援・高齢者の自立支援を「もちつもたれつ」を大切に地域で支え合う仕組みをつくり、男女共同参画をミッションに1997年に市民団体として設立し、1999年に中部9県下第1号でNPO法人格を取得した団体です。



★ 企業内家庭教育研修の紹介

岐阜県金属工業団地協同組合

実施日：令和3年12月13日(月)12:20~13:20
 講師：岐阜県美術館 学芸部 教育普及係 課長補佐 橋本 浩典 氏

研修テーマ：『岐阜県美術館のコレクション作品と教育普及について』



月例会の研修の時間に実施しようと、お声をかけていただきました。3年連続です。

《研修内容》 中小企業経営者約40名

「美術館にいらっしゃったことがある方」の質問に半数以上が挙手され、興味が高いことが分かります。

美術館のリニューアルした施設の紹介から始まり、美術館の基本理念について話されました。

- 美とふれあう：コレクション「岐阜県ゆかりの作家・コレクション「西洋美術」・コレクション「現代美術」
- 美と会話する：ある作品を見て「私はこう思う」の交流から、感じ方は人それぞれであり、「作品は完成したら鑑賞者のものとなる」といった言葉の意味が伝わってきました。
- 美を楽しむ：ワーク「くものあしをかくてみよう」では絵を描いたり、作品を交流したりして楽しく進められました。団体鑑賞や出前講座、外部連携など。新しい形での教育普及事業への挑戦等の紹介もありました。

最後にコロナ禍のオンライン事業としてのARの体験を行い、参加者は興味が尽きない様子でした。

感想に「絵に対する見方が変わった。」「美術館に行きたくなった」といった感想があり、とても好評でした。

《参加者の感想》

- ・絵の見方が変わった。
- ・考えが一つしか出てこなく、頭を柔らかくすることの必要性を感じた。
- ・個性的、空想的でよかった。
- ・毎日の生活の中で考えると非日常なことなので、生活、行動を見直す材料、経験となると思う。
- ・AR アプリ面白かったです。
- ・久しぶりに県美術館に行きたくなった。

企業内家庭教育研修について(金属工業団地協同組合)

